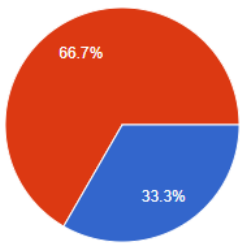
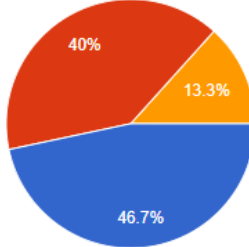
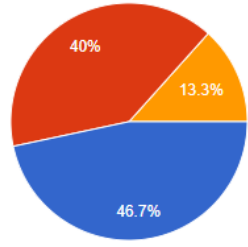
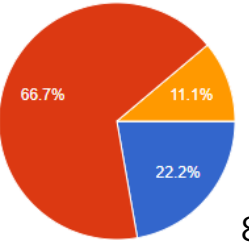
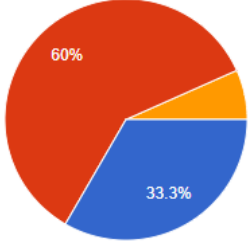
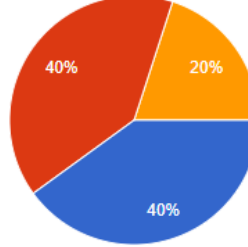
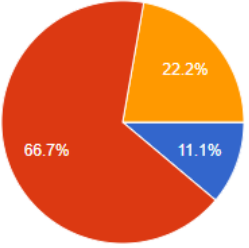
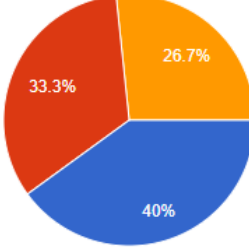
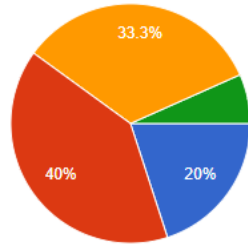
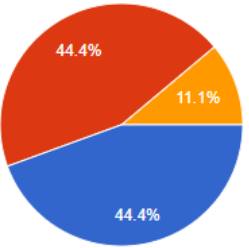
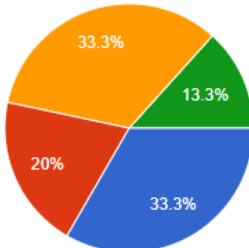
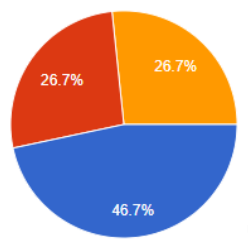


令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ① 【重点(1)について】

● できた・そう思う ● ややできた・ややそう思う ● あまりできなかった・あまりそう思わない ● 全くできなかった・全くそう思わない		教職員の評価 学校は…	保護者の評価 あなたのお子さんは…している	児童の評価 わたしは…している
重点(1)《進んで学ぶ子どもの育成》	①複式授業に自分から取り組み、いろいろなことを覚えたり、様々なことができるようになったり、自分の考えをもって発表するようになってきている。	 100%	 86.7%	 86.7%
	②生活科や総合的な学習の時間を中心に、課題意識をもって活動したり、各教科で学習したことを生かして、学習を進めている。	 88.9%	 93.3%	 80%
	③学校や家で読書に積極的に取り組んだり、すらドリルや自主学習などの家庭学習の習慣が身に付いてきている。	 77.8%	 73.3%	 60%
	④タブレットを使った「すらタイム」で1週間の取組の見通しを持ち、自分に合った学習を自分で計画できるようになっている。	 88.8%	 53.3%	 73.4%

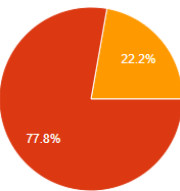
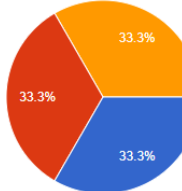
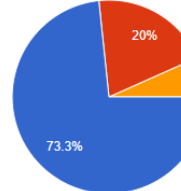
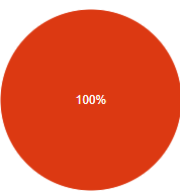
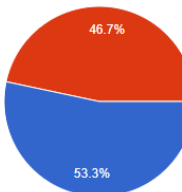
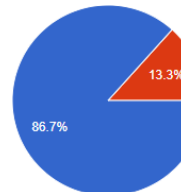
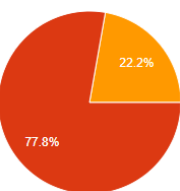
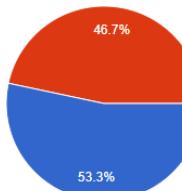
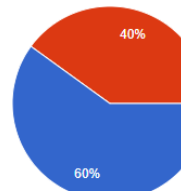
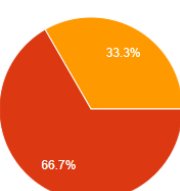
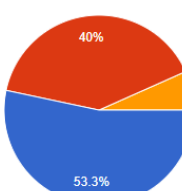
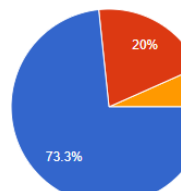
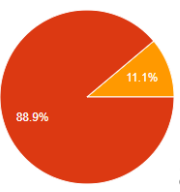
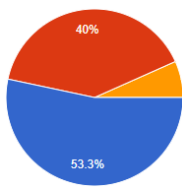
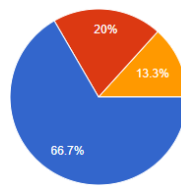
令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ② 【重点(2)について】

● できた・そう思う ● ややできた・ややそう思う ● あまりできなかった・あまりそう思わない ● 全くできなかった・全くそう思わない		教職員の評価 学校は…している	保護者の評価 あなたのお子さんは…している	児童の評価 わたしは…している
(2)《心優しい子どもの育成》	①自分のよいところがわかったり、友だちに親切にしたり、思いやりをもつこと、礼儀正しくすること、手ノ子・高峰・中津川や飯豊町の伝統を大切にし、大事にしようとする態度が育ってきている。	77.8%	100%	86.7%
	②運動会や学校行事の取組の中で、自分から積極的に取り組み、仲間と協力して活動し、感動を味わうことができている。	100%	100%	93.4%
	③地域の学習(わくわく3KEN、獅子クラブなど)の取組で、地域を愛する心や地域に貢献しようとする態度が育ってきている。	88.9%	73.4%	83%
	④町内の学校と合同で授業をしたり行事をすることを通し、他校の友だちと仲良くなったり交流を深めたりすることができている。	87.5%	93.3%	80%

令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ③ 【重点(3)について】

● できた・そう思う ● あまりできなかった・あまりそう思わない ● ややできた・ややそう思う ● 全くできなかった・全くそう思わない		教職員の評価 学校は…している	保護者の評価 あなたのお子さんは…している	児童の評価 わたしは…している
(3)《たくましい子どもの育成》	①避難訓練や防災教室などで学習したりしたことをもとに、危険から命や身を守ったりする力を高めている。			
	②体育授業や体育的行事の取組で、たくさん運動し、自分の体力や運動の力を伸ばしている。			
	③食事の大切さを理解し、「食」に関する知識と、バランスのよい「食」を選ぶ力を身に付け、「食」に対する感謝の気持ちが育っている。			
	④「立腰」や「正しい鉛筆の持ち方」、また「アウトメディア」や「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣を自分で整えられるようになっている。			

令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ④ 【学校の合言葉について】

		教職員の評価 学校は・・・している	保護者の評価 あなたのお子さんは・・・している	児童の評価 わたしは・・・している
(4)学校の合言葉(子どもと教師が共に育む非認知能力)	①【あ】あきらめない めあてを持ちがってしない(へこたれない)で、最後までやり続けること(自己認識、意欲、忍耐力)が身に付いてきている。	 77.8%	 66.6%	 93.3%
	②【い】いのちを大切に 事故にあわないようにすること、生活リズムを整え病気や怪我をしないようにすること、いじめをしないことが身に付いてきている。	 100%	 100%	 100%
	③【う】美しい心 「ありがとう」「すごいね」等、感謝や賞賛の言葉を素直に言えること、善悪を判断し、善い行いをしようとする、ルールを守ろうとすることが身に付いてきている。	 77.8%	 100%	 100%
	④【え】笑顔であいさつ 誰にでも、笑顔であいさつをすること(コミュニケーション力)が身に付いてきている。	 66.7%	 93.3%	 93.3%
	⑤【お】思いやり 周りの人に優しく接すること、みんなでできるようになろうとすること(協調性、協働性)が身に付いてきている。	 88.9%	 93.3%	 86.7%

令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ⑤ 【分析・考察 来年度に向けて】

	分析・考察
重点(1)	◇複式授業への取り組み ☞算数科の研究を通した複式スタイルの授業の確立は、これまでの本校の取組の成果。来年度以降もさらに磨きをかけ、自律的に学ぶ姿を追求していく。 ◇生活科・総合的な学習の時間と教科学習を関連させること ☞生活科と総合的な学習の時間、教科のバランスを取り、カリキュラムマネジメントを進めながら学習することができた。どんな場面で学習したことが生かせるか、さらに児童に自覚させながら学習を進めるようにする。 ◇家庭学習(自主学習や読書) ☞特に児童の評価が低い。個別最適な学習、粘り強く学習に取り組む主体性を育てるため家庭での学習を充実させていく指導が必要。 ◇タブレットを使用した個別最適な学習 ☞町内で足並みをそろえた取組が大分進んだ(すらすらテスト、中学テスト期間に合わせた強調週間の取組)。児童も取組に慣れて自分の学習を計画・実行することが徐々にできるようになってきている。さらに充実した取組を継続し、保護者にもその様子を見取って励ましてもらえるようにしていく必要がある。
重点(2)	◇自分のよさ、親切・思いやり、礼儀・伝統を重んじる態度 ☞教職員と保護者で差がある。授業、学校行事、校内外生活の中で児童のよいところを自覚させ、道徳授業の内容項目の重点化をすすめ、教育課程全体で指導するようにしていく。 ◇運動会や学校行事等で感動を味わうこと ☞今年度は創立150周年記念の年でもあり、学校行事等で児童の思い・願いを生かして創意工夫した活動を創ることができた。今後も児童が活躍できる場面を今後も大切にしていきたい。 ◇地域を愛する心や地域に貢献する態度 ☞教職員の評価は高いが保護者の評価が低い。本校の取組は他校に比べてかなり充実した取組と考えている。今後も地域の皆さん全てに支えていただいている活動に感謝しながら、地域のよさを感じる心の醸成を図る。 ◇町内各校との交流 ☞町の取組である「めざみ学習」で各学年とも充実した交流ができた。特に添川小学校とは、4年生社会科見学(第2小も)、スイミングフェスタなど、2校間独自の交流を進めることができ、集団の中での学習活動を行うことができた。児童も「他校と交流してよかった」「一緒に学習して楽しかった」という自覚がもてるように、来年度はさらに発展・深化させていく。

重点(3)	◇危険から自分の命や身を守る力の育成 ☞教職員、保護者、児童ともに評価が高かった。特に防災教室を通して、保護者や祖父母と共に豪雨の際の災害時にどのように身を守るか、自分の地域を見つめ直しながら考える機会をもてたことがよかった。 ◇体力を伸ばすこと ☞教職員・児童と比べて保護者の評価が少し低い。主体的に取り組む体力向上ための取組をさらに工夫・充実させ、児童の頑張りや伸びを周知していくようにする。 ◇「食育」について ☞児童の評価は高いが教職員・保護者の評価は低い。「食」の大切さの学習を充実させ、家庭の協力を得ながら具体的に実践する力にまで高められるようにする。 ◇基本的な生活習慣について ☞児童の評価は高いが教職員・保護者の評価は低い。特にアウトメディアが必要な児童に対して、家庭の協力を得ながら、具体的に生活が改善するように指導を継続する。
合言葉「あいっえお」	◇「あ:あきらめない」 ☞児童は高いが教職員・保護者は低い（特に保護者）。「めあてを持ってがってしない（へこたれない）で最後までやり続ける」ことは日々の授業、家庭学習、運動や様々な活動で伸ばしていく必要がある。 ◇「い:いのちを大切に」 ☞教職員、保護者、児童ともに100%でよい評価だった。 ◇「う:美しい心」と「え:笑顔であいさつ」 ☞ともに教職員の評価が低い。美しい心が現れる言動はどういうものか具体的な場面をとらえて指導すること、相手意識をもった笑顔でのあいさつをどんな時も（学校だけではなく家庭や地域でも）できるように、さらに意識させる。 ◇「お:思いやり」 ☞教職員、保護者、児童ともに評価が高かった。

※網掛け…来年度にむけての検討課題

令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ⑥ 【学校への要望に対して】

保護者アンケートから	児童アンケートから
◆親や祖父母が関わる行事等の案内がとにかく遅いです。 ☞今年度様々なお案内が遅れてしまって申し訳ございませんでした。PTA総務部会でもご意見として出されたマメールの活用も視野に入れて、早めのご案内、周知、連絡を心がけます。 ◆考えさせる機会を増やす。答えを押し付けない。郷土愛とか、押し付けてほしくない。 ☞授業や様々な活動で「考える機会」を創るには、まずは「聞くこと」が大切と考えます。<u>友達同士や他校との学習交流、日々の授業の振り返りなどの中で意見や感想を聞き合い、自分の考えをより深め合える場面（※）</u>を創り出していきたいと思います。※本校の全国学力学習状況調査での課題でもあります。 ☞生まれ育った郷土は、生きる上で大きな精神的な支えとなるもの、大人になってからも人生を送る上で心のよりどころとなる大きな役割を果たすものであると考えます。本校はこれまで手ノ子・高峰・中津川、各地区と手を携え、地域に支えられ、自分の住む地域、コミュニティーを大切にしよう、よりよくしようとする態度を育んできました。今後もその心情を醸成する活動を大切にしていきたいと思います。 ◆①複式学級について。一コマまるまる一年生に付き切りの時があったようで、帰宅した娘から今日は先生はずっと一年生のところで4年生プリントやって答え合わせも自分たちで「私たち放置されてない？」と子供同士で話したということを知った。本人は笑いながら話していたが、プリントのみで先生が何もしない一コマがあることは他校では考えにくい。 ②学習における競い合い(点数)は、ある年齢にあると絶対意識せざるを得ないことで、良い意味でライバル意識を育むことで、学習のやる気スイッチが入ることがあると感じている。 ☞今年度の複式学級は1・4年と5・6年です。特に1・4年は隣接学年でないため児童の発達段階に大きな幅があり、特に入学したての1学期当初は指導場面の創り方が非常に難しく、4年生に負担をかけたこともあったかもしれません。しかし、今年度は飯豊町から支援員を配置していただきました。常時1・4年担任を支援してもらったことで、徐々に1年生が複式の学習スタイルに慣れて4年生のように自律的に学ぶ力が育ってきています。今後もさらに自律的に学ぶ力を伸ばしていけるように努力します。 ☞学習効果を高める「競い合う場面」はとても大切であると考えます。これまでの取組をよりよいものにするともに、今後は他校との交流や学習にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。 ◆特になし	◆すららを使いやすくしてほしい。 ◆ギガ端末が少し重いのもう少しスムーズに出来るようにしてほしいです。 ☞タブレット導入4年目ということで不具合があるものも出てきています。個別最適な学びを進めるためにも、教育委員会と連携して整備に努めたり、よりよい便利な使い方をお知らせしたりします。

令和5年度 飯豊町立手ノ子小学校 学校評価アンケート まとめ 【その他・学校への要望等】

	教職員	保護者	児童
内容等	◆生徒指導の月目標が子どもの実態と合っていない気がします。あいうえおをベースに子どもたち自身で目標を設定し、その都度振り返って上手くできないところは別の方法でもう一度取り組んではどうでしょうか？問題発見解決能力を付けたいものです。 ◆一校時を10分早めてみたい。 ◆今後についてですが、卒業や6年時を見据えて見通しをもった教育活動を展開したいです。具体的にはメタ認知を促す道德でのノートの取り組みや、自己有用感をもたせる相互評価の取り組みなどを継続していきたいです。来年度に向けて2点です。 ①前期所見の廃止について。職員会議で校長先生も仰っていた通りで、行事などの兼ね合いを考えると無くてよいのではないかなと感じます。また、面談で十分に保護者の方に様子をお伝えできていると思いました。 ②わくわく3KENは行事が集中している期間などは、放課後活動はなくてもいいのではないかと感じました。子どもたちの体力的に辛そうでした。 ◆学校での読書時間が十分でない。朝の時間にきちんと位置付けたい。わくわく3KENは、もう少しスリム化したい。 ◆スクールサポーターの方に、もう少し清掃分担を担っていただきたいと思う。 ◆学校全体では、「先生方から挨拶されて当たり前」「こちらからの挨拶が返ってこないこともある」ので積極的に挨拶が飛び交っている5・6年生男子の朝の元気な雰囲気や、朝だけではなく帰るときまで、学校全体に少しずつ広めていければいいと思います。そのために、「こちらからも元気な挨拶をし、気持ちの良い挨拶が返ってきたら褒める。」ことを心がけていきたいです。1・4年生のもっと良くなると思う点は、1つ目は「チャレンジしてみよう！」の積極的な気持ちを持てるようになること。2つめは、人のできなかったところを指摘して優越感を得ることをやめ、お互いのがんばりを認めて相手の良いところを見つけ、すすんで褒められるようになることだと思います。これらについても、出来た瞬間を見逃さずに一つひとつ拾って、とにかく褒めるようにしたいと思います。特に2つ目に関しては、1年生は発表時などの拍手も4年生や先生に任せてしまてなかなか身についていないので、これからも声をかけていきたいです。 ◆道德教育の推進については、重点内容を絞り、具体的にめざす子ども像を明確にして取り組んだ方がいいように思います。すべてを網羅しようとすると焦点がぼけてしまうように感じます。	◆親や祖父母が関わる行事等の案内がとにかく遅いです。 ◆考えさせる機会を増やす。答えを押し付けない。郷土愛とか、押し付けてほしくない。 ◆①複式学級について。一コマまるまる一年生に付き切りの時があったようで、帰宅した娘から今日は先生はずっと一年生のところで4年生プリントやって答え合わせも自分たちで「私たち放置されてない？」と子供同士で話したということ聞いた。本人は笑いながら話していたが、プリントのみで先生が何もしない一コマがあることは他校では考えにくい。 ②学習における競い合い(点数)は、ある年齢にあると絶対意識せざるを得ないことで、良い意味でライバル意識を育むことで、学習のやる気スイッチが入ることがあると感じている。 ◆特になし	◆すららを使いやすくしてほしい。 ◆ギガ端末が少し重いのでもう少しスムーズに出来るようにしてほしいです。